

2013年12月12日

各位

DAIKYO 大京グループ

**サイクリスト達と共創
マンションの新しい自転車コミュニケーション空間
「サイクルピット」を開発
ライオンズリビングラボ共用部商品第5弾**

株式会社大京（本社：東京都渋谷区、社長：山口陽）は、現在、お客さまと一緒にモノづくりを行う取り組みとして「Lions Living Labo（ライオンズリビングラボ）」で新たな商品開発を行っています。その取り組み内容は、住まいの設備仕様や収納、空間提案等においてお客さまの声をお聴きし、実際に生活する人の目線で、従来の当たり前の仕様をイチから見直し、「お客さまが本当に求めていることとは」を研究し商品を開発しております。

このたび、マンション内にロードバイクなどのスポーツタイプの自転車も安心して置ける駐輪ブースと、楽しみながらメンテナンスができるスペースを併設した「サイクルピット」を開発し、2014年3月下旬発売予定の「ライオンズ住吉橋リバーフォート」（広島県広島市中区）で初採用することとしましたので、お知らせいたします。

■「サイクルピット」



スタイリッシュに、健康でエコなサイクルライフを応援する、
サイクリストのためのメンテナンス基地&パーキング。

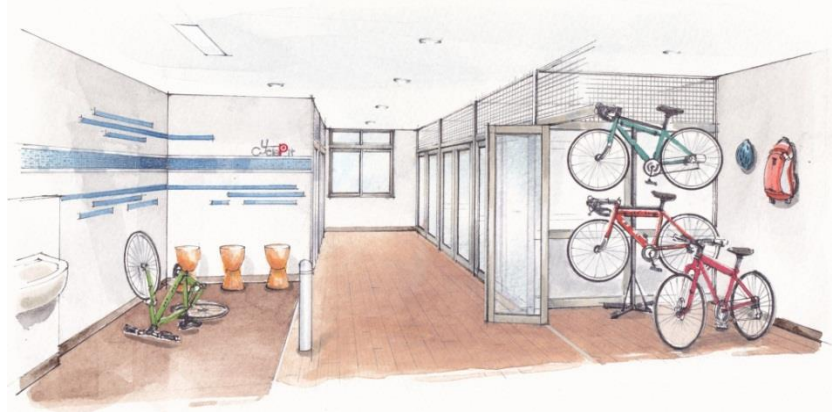
近年、ロードバイクやクロスバイクといったスポーツタイプの自転車や電動アシスト付自転車に乗る人を多く見かけるようになりました。（グラフ①参照）また「プチ贅沢」な買物の一つとして「高価なスポーツタイプの自転車」が消費トレンド上位にあがっています。

一方、マンションにおける自転車置き場は、「出し入れが面倒」「いたずらが心配」といった声が多くありました。（グラフ②参照）

そこで、マンションにおける自転車保管のあり方は従来のままで良いのだろうかというテーマを設定し、さまざまな自転車に乗るお客さまの多様なシーンとニーズを考え、自転車に乗る人も、乗らない人にも快適な「新しい自転車置場とメンテナンススペース」を考えました。



専用駐輪スペースイメージ



サイクルピット全体イメージ

(1) 屋内専用駐輪スペース

一階の屋内に2重のセキュリティに守られた専用区画づくりしました。各ブースの出入口扉は小鍵付きで、正面壁にはヘルメットなどの小物が掛けられるフックを設置。家族の自転車も一緒に置くので小さなお子様も楽に駐輪できます。

- 仕様等：●1区画サイズ：間口約1,400×奥行2,000(有効)×高さ2,500(mm)
 ●収容可能自転車数(目安)：平置きで大人用2台(2段置きスタンド利用で4台)
 ●ブース出入口扉は透明パネル折戸(専用子鍵付)

(2) メンテナンススペース

汚れた自転車の掃除やタイヤの空気入れ作業、オイルやグリスを使用したメンテナンス等も思う存分できるスペースです。さらに、居住者の皆さまも利用可能なスペースなので、サイクリングの情報交換など、コミュニケーションの場としてもご活用いただけます。

- 予定設備：●防犯カメラをサイクルピット内通路部に設置●スロップシंक●自転車一時スタンド用ポール
 ●ツール●空気圧ゲージ付きフロアポンプ

■サイクルピットの開発経緯

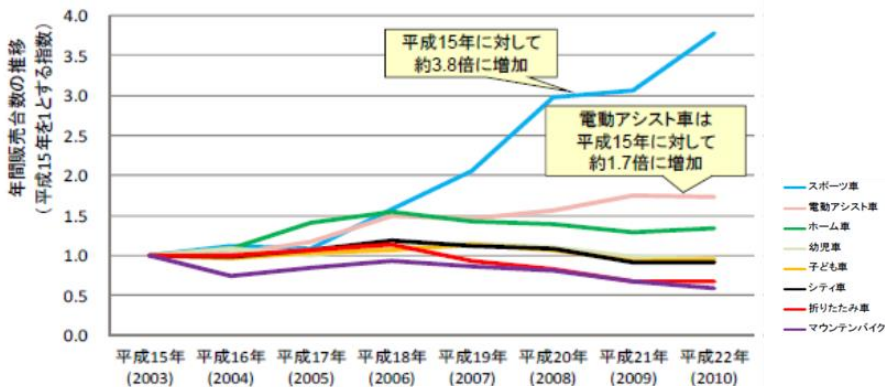
これまで大京グループでは、物件特性等により、自転車置き場を200%確保すること(戸数比)や3人乗り自転車置き場を設置すること、子供用や来客用の置き場を確保すること、などの改善を続けてまいりました。そのなかで入居者の方から増えているご意見としては、自転車をエレベータで部屋に持ち込む方が増え、ほかの居住者がエレベータに乗れない事例があります。

そこで、特にスポーツタイプの自転車は、駐輪場があっても部屋に持ち込むお客さまが多いという実態に着目し、さまざまなタイプの自転車のサイズ、仕様、置き場所、メンテナンス内容等について、サイクリストとの座談会や各種アンケート調査、専門店店員へのインタビュー等の対話と調査を繰り返し行ってまいりました。自転車は今後ますます、単に移動手段としてではなく生活を豊かにする乗り物へ変化していくとも考えられます。(グラフ③ 参照)

このような調査の中で、自転車に乗らない人の声もお聴きすることで、マンションにおける駐輪場のあり方から見直し、置くだけの「機能」としての駐輪場から居住者同士が自転車を通して「コミュニティ」を深めていただけるような、生活をもっと楽しめるスペースになることを目指し開発しました。

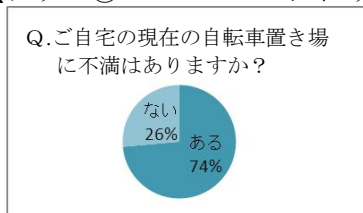
【グラフ①：自転車国内販売動向調査】

- ・スポーツタイプや電動アシスト付き自転車の販売台数の増加が顕著

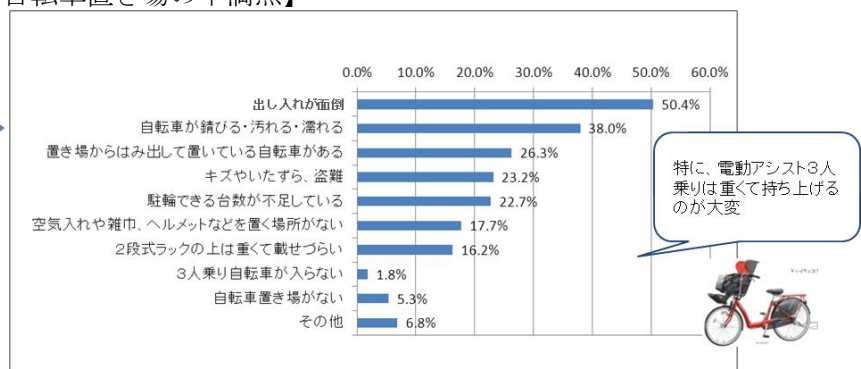


出典：一般社団法人自転車産業振興協会 調査データより

【グラフ②：マンションにおける自転車置き場の不満点】

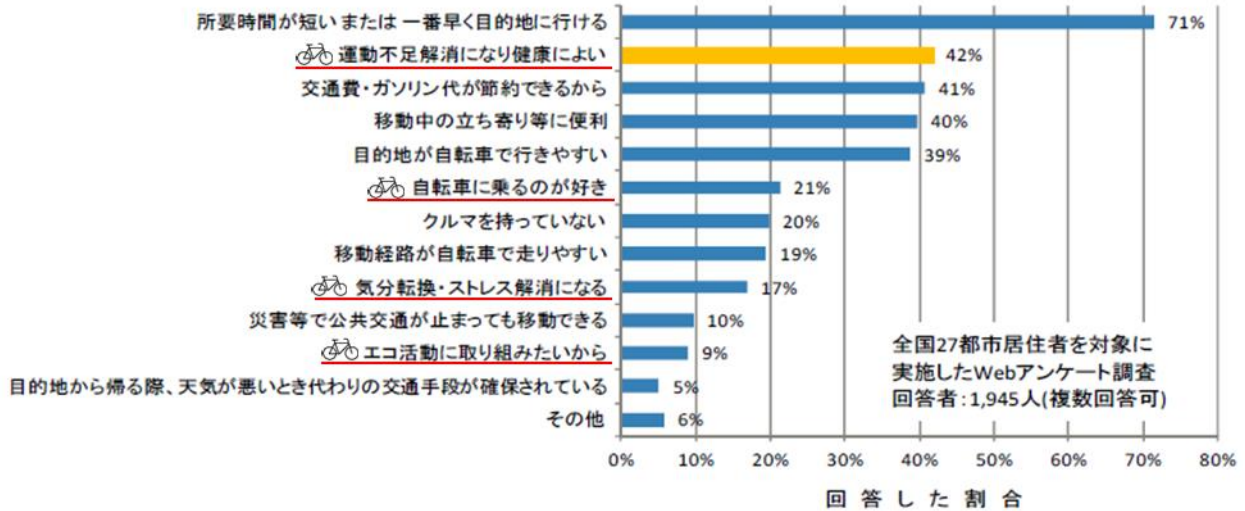


出典：2012年12月実施 Lions Living Labo 調査より



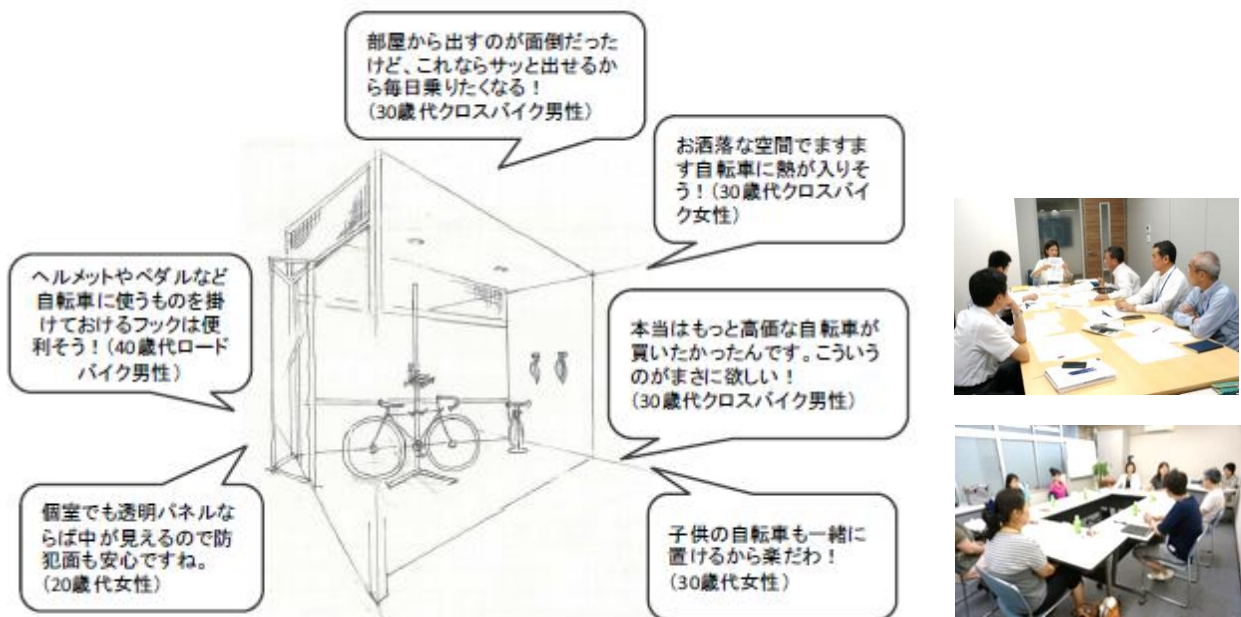
【グラフ③：自転車利用目的】

- ・自転車は移動手段だけではなく、健康のため、趣味やスポーツとして利用している方が多くいます。
- Q. 自転車に乗る理由は？



■ 企画過程での座談会の様子

【出典：国土技術政策総合研究所 平成24年1月実施のWEBアンケート結果より抽出】



出典：2013年1月・6月・7月実施Lions Living Laboサイクリスト座談会より



■今後の取り組み

「サイクルピット」は単に自転車置き場の改善ではなく、「居住者間でコミュニケーションを図るきっかけ」を生むという空間づくりでもあります。お客さまの不満を解消する商品を開発するだけでなく、これから先、こんな商品があったら、どんな生活をするか、どんな気持ちが生まれるか、という未来をお客さまと一緒に発想しながら、共創した取り組みです。さまざまなお客さまとの対話そして調査を重ね開発した商品です。今後もライオンズリビングラボでは、こうした共創商品開発に取り組んでいく予定です。

■ライオンズ リビング ラボとは

「Lions Living Labo (ライオンズ リビング ラボ)」

お客さまと共にモノづくりをする取り組みとして、ライフスタイルや世代の異なるさまざまな方と意見を交わし、声を集め、家族一人ひとりの「家時間」をより快適に、楽しい時間になることをテーマに、生活提案型の商品開発を行っております。

現在までに 53 点以上のオリジナル設備や収納、ライフスタイルプランを開発し、全国のライオンズマンションに採用の他、大京グループのリノベーションやリフォームのお客様にご採用いただいております。

Lions
Living
Labo

■ライオンズ リビング ラボ 【共用部商品開発への取り組み履歴】

第1弾：ウェルカムエントランス	2011年9月発表
第2弾：ココチポーチ	2013年5月発表
第3弾：ライオンズコージースペース	2013年5月発表
第4弾：ライフティストレージ	2013年9月発表

Welcome
Entrance
ウェルカム エントランス

COCOCHI
PORCH
ココチポーチ

Lions
COZY SPACE

LIFETY
Storage
ライフティストレージ

【ライオンズ住吉橋リバーフォート物件概要】

所在地：広島県広島市中区住吉町16番以下未定(住居表示)
交通：広島電鉄宇品線「鷹野橋」駅下車徒歩9分
用途地域：商業地域
規模・構造：鉄筋コンクリート造、地上13階建て、陸屋根、共同住宅
総戸数：60戸(住戸)
販売戸数：未定
専有床面積：68.55m²～87.93m²
竣工日：2015年3月25日(予定)
入居開始日：2015年3月27日(予定)
販売予定時期：2013年3月下旬
施工：株式会社鴻池組
設計：株式会社U建築設計事務所
販売主：株式会社大京



【ライオンズ住吉橋リバーフォート駐輪スペースについて】

- ・屋内専用駐輪スペース：6区画設置(サイクルピット)
 - ・その他の駐輪スペース：自転車置場[屋内平地式26台、屋内スライドラック式55台、屋外平地式・庇付き14台、屋外平地式(三輪対応)・庇付き5台、屋外スライドラック式・屋根付き20台]【計120台設置】
- ・詳しくは物件ホームページをご覧ください。<http://lions-mansion.jp/MM121002/concept.html>

このニュースリリースに関するお問い合わせ先
株式会社大京 広報室(今福・河守) TEL:03-3475-3802